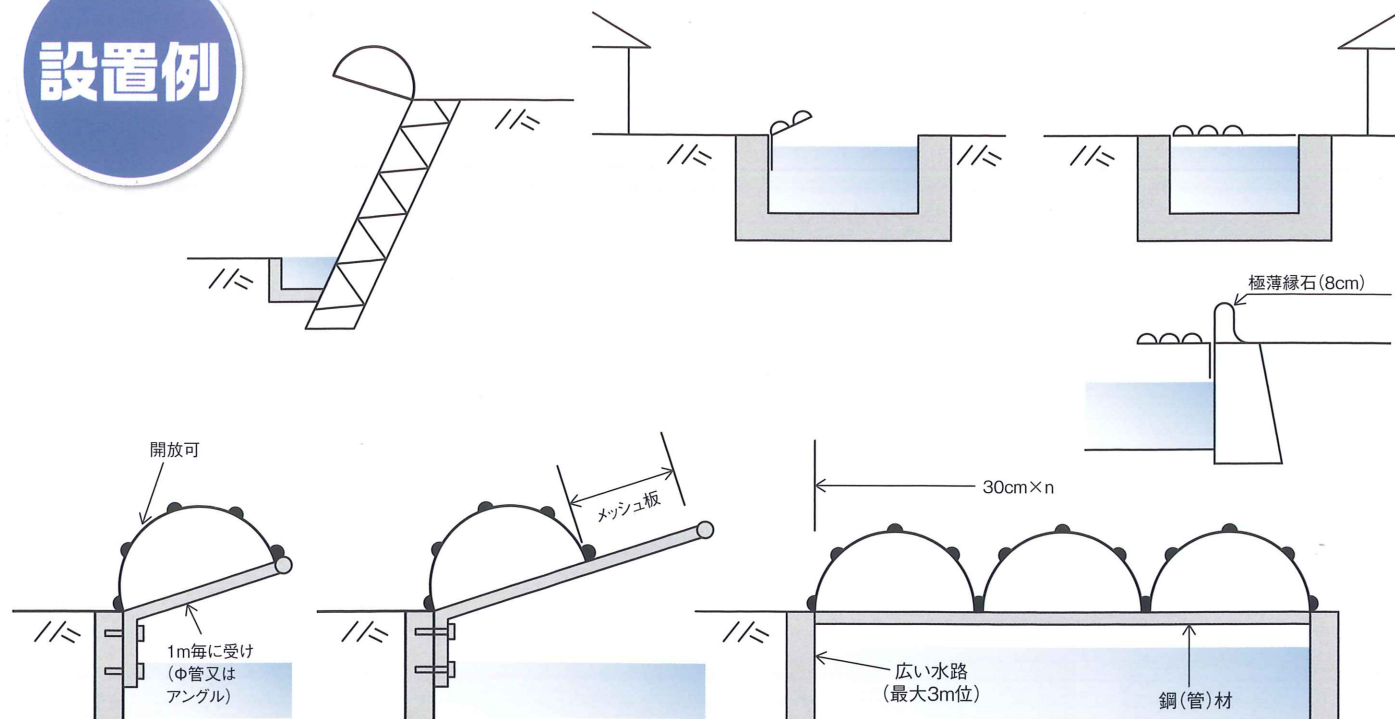


設置例



自分たちの生活圏を安全に!! 対策は始まったばかりです。

●自治体に対策費を計上

〇市の例〈用水路等安全対策事業として数億円〉

転落死亡事故が多発する水路等の安全対策費として危険性の高い箇所から集中的に対策を実施。※国も、対策が必要と動き始めています。

●水路管理者と道路管理者が手を携えて問題を解決

自治体も地元民も積極的に防災活動の方向(例)

- ・地元(自治会、水利組合、PTA、土地改良区など)関係者が地方議員を交えての対策協議の実施。
- ・県などが関係者(自治体、消防、警察、大学、病院などの有識者)による対策会議の開催。
- ・自治体が地元住民へ転落防止対策のため「用水路等の一斉点検」の調査依頼を実施。それに伴い要望をとりまとめ「危険度判定」を行って対策の優先順を決定し対策の実施。

問い合わせ先

⑤ 株式会社 丸万コンクリート

〒996-0091 山形県新庄市十日町1564-2
TEL.0233-22-6822 FAX.0233-22-9652
http://www.maruman-con.co.jp
E-mail: info@maruman-con.co.jp

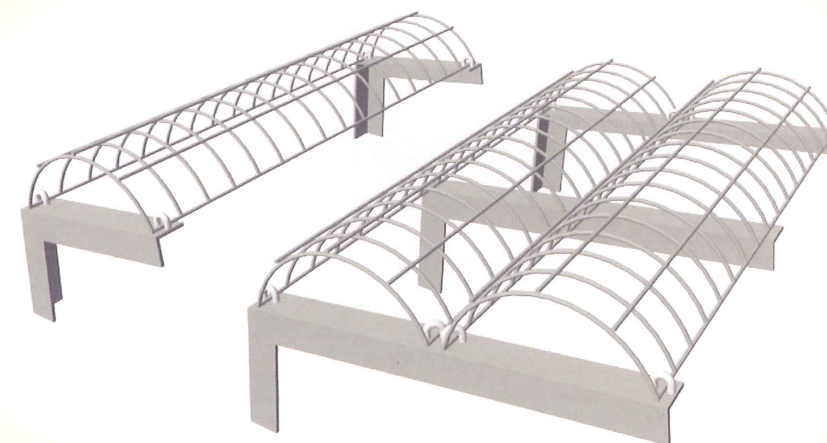
■ランデックス工業株式会社

香川県高松市多肥上町316-1
(TEL)087-815-5222 (FAX)087-815-5001
(Mail)customer@landex.co.jp

■株式会社ダイクレ 四国営業所

愛媛県今治市大西町脇甲1829-1
(TEL)0898-53-6741 (FAX)0898-53-6761
(Mail)ebsv-eigyo@daikure.co.jp

水路転落抑止カバー 「オチナイデ」



水路に
安全カバーを
設けましょう!

軽い、
丈夫(人を支える)
長持ち、
圧迫感なし

日常に潜む危険水路

身近に多くの落水者がいます

※生活道(幅3~6m)位横の水路



生活道横の水路には危険がいっぱいです。
子供やお年寄り、そしてあなたは
「大丈夫」と言い切れますか?

全国で年間落水者がおおよそ3~5万人、ケガ人1万人、亡くなる方1千人と驚く人数の方が犠牲となっています。(※各県単位で約10~30名の方が亡くなっています。)

自転車事故は交通事故扱いとなり上記の約1/3(約350人)が該当し

交通事故死の約一割を占めています。

※パトカー、救急車もこの事故対応に3~4万回も緊急出動をしています。

